

4 環境まちづくり部

- 1 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。
 - 環境保全意識周知……………114
 - ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進……………114
 - 地球温暖化対策の推進……………115
 - 建築物の省エネ推進……………115
 - 街路灯のLED化……………116
 - 公園・児童遊園の整備……………116
 - 東郷元帥記念公園の整備……………116
 - ZEVごみ収集車導入に向けた検討……………117
 - 資源回収事業……………117
 - 食品ロス削減の推進……………117

- 2 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。
 - 交通安全推進……………118
 - 自転車活用推進計画の策定……………118
 - ウォーカブルなまちづくりの検討……………119
 - 歩道のセミフラット化……………119
 - エリアマネジメントの推進……………120
 - 地区の計画等の検討……………120
 - 秋葉原地域まちづくりの推進……………121
 - 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進……………121
 - 神田駿河台地域まちづくりの推進……………121
 - 神田駅周辺地域まちづくりの推進……………122
 - 次世代育成住宅助成……………122
 - マンション管理の適正化の推進……………123
 - 第4次住宅基本計画の策定……………123
 - 電線類地中化の推進……………124
 - 歩道の設置・拡幅整備……………124
 - 自転車通行環境整備……………124
 - 主な整備予定箇所……………126

- 3 地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。
 - 橋梁の整備……………125

- 4 基本構想の実現に向けて
 - まちづくりプラットフォームの構築……………125

環境保全意識周知

12,107千円 (7,256 千円)

拡充 ▶環境政策課

区は、環境に関する教育の充実やイベントの開催、情報発信等を通して、区民や事業者に対し、温暖化対策など環境保全に関する普及啓発を行っています。

近年、気候変動対策として海洋に生息する海藻などによって二酸化炭素を吸収・蓄積する「ブルーカーボン」が注目されていることから、令和6年度は、従前から実施してきた森林体験等に加え、海洋環境の維持・保全に対する意識を高めるため、区内の小・中学生を対象に海洋体験や学習イベントを実施します。

R7 見込額：11 百万円 R8 見込額：12 百万円

ヒートアイランド対策・暑熱対策の推進

30,091千円 (73,204 千円)

拡充 ▶環境政策課

区は、ヒートアイランド現象を緩和するため、新築の建物に対する緑化指導による緑化の推進やクールスポットの創出などに取り組んでいるほか、区民や事業者への助成・普及啓発を実施しています。

令和6年度は、緑化指導を行った民間施設の新築等の際などに、雨水を一時的に貯めて時間をかけて地中へ浸透させる構造を持った植栽空間（レインガーデン）を設置した場合に補助を行い、緑豊かな都市景観の創出と気候変動に適應した減災の取組みを推進します。

R7 見込額：26 百万円 R8 見込額：26 百万円

地球温暖化対策の推進

46,350千円 (58,049 千円)

拡充 ▶環境政策課

区は、2050年までに区内の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「2050ゼロカーボンちよだ」の実現を掲げるとともに、2030（令和12）年度までに区内の二酸化炭素排出量を2013（平成25）年度比で42.3%削減する対策目標を設定し、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。

令和6年度は、区内中小企業を対象に、脱炭素アドバイザー[※]の資格受験料の一部を助成し、中小企業が自社の温室効果ガスの排出量を削減するための取組みを支援するほか、「脱炭素経営」や「緑地・緑化の創出など生物多様性に配慮した地球温暖化対策」などに関するセミナーを開催します。

また、木材の調達を通じた地域振興や域外交流促進等による地方林業活性化に向けた支援を検討するため、区内における木材利用に係るニーズ調査等を実施します。

※脱炭素アドバイザー：環境省が認定した民間の資格で、脱炭素に向けた取組みに対してアドバイスや実践支援を行う人。

R7 見込額：49 百万円 R8 見込額：46 百万円

建築物の省エネ推進

214,834千円 (198,280 千円)

拡充 ▶環境政策課

新築建物については、建築物環境計画書制度に基づく事前協議により環境に配慮した建物の省エネ化を推進しています。また、既存建物については、区内事業者等への助成制度の普及・啓発を行うことで、省エネルギー改修等を促進し、事業所ビル等の建物の低炭素化に取り組んでいます。

令和6年度は、一定規模の低炭素建築物の新築又は増改築をする際に助成している低炭素建築物助成制度について、区内中小企業を対象に、二酸化炭素削減量1tあたりの助成額を25万円から50万円に拡充するとともに、助成限度額を1,000万円から2,000万円に引き上げ、中小企業における脱炭素化の取組みを一層促進します。

R7 見込額：215 百万円 R8 見込額：215 百万円

街路灯のLED化

158,000千円 (— 千円)

新規

▶道路公園課

区は、2030（令和 12）年度までに区有施設におけるゼロカーボンの達成をめざし、区有施設等における省エネ設備等の導入を推進しています。

区が管理する街路灯のうちLED化されていない約5,000基を、令和6年度から令和12年度までの7年間で、ナトリウム灯からLED灯に変更して省エネルギー化を図ります。

R7 見込額：400 百万円 R8 見込額：361 百万円

公園・児童遊園の整備

296,900千円 (261,430 千円)

拡充

▶道路公園課

区は、平成 19 年に策定した「公園・児童遊園等整備方針」に基づき、公園及び児童遊園等が安全で快適に利用できるよう整備や維持管理を行っています。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、公園・児童遊園等整備方針の改定に向けて取り組むほか、利用者が少ない一部の公園等について有効活用すべく、公園・児童遊園・広場の利用実態調査の結果を踏まえながら整備に着手します。

また、公園等の魅力や価値を向上させるため、区立公園等における多面的な活用に向けた検討を行うとともに、令和5年度に試行的に実施した公園内における花火の利用について、区内8か所で展開できるよう環境整備します。

R7 見込額：520 百万円 R8 見込額：490 百万円

東郷元帥記念公園の整備

330,000千円 (365,000 千円)

▶道路公園課

東郷元帥記念公園は、歴史的経緯を尊重しながら、より一層地域に愛される公園としてリニューアルするため、改修整備を進めています。

令和6年度は、引き続き上・中段部の工事を進め、令和7年度中のリニューアルオープンをめざします。

R7 見込額：280 百万円 R8 見込額：完了

Z E Vごみ収集車導入に向けた検討 1,400千円 (— 千円)
新規 ▶千代田清掃事務所

区は、2030（令和 12）年度までに区有施設におけるゼロカーボンの達成をめざし、クリーンエネルギー自動車の導入を推進しています。

令和6年度は、都からZ E Vごみ収集車（燃料電池ごみ収集車）を一定期間借り受けて、実際のごみ収集ルートで試験的に運用し、Z E Vごみ収集車導入に向けて効果検証等を行います。

R7 見込額：1 百万円 R8 見込額：完了

資源回収事業 668,945千円 (639,066 千円)
拡充 ▶千代田清掃事務所

区は、循環型社会の推進のため、古紙類やプラスチック全般の回収等の各種資源化事業を展開しています。

現在、区内で収集した粗大ごみは、粗大ごみ破碎処理施設に搬入し、破碎後に焼却等処分していることから、令和6年度は、飯田橋車庫で収集した粗大ごみから金属を多く含む金属系粗大ごみを選別し、資源化施設に搬入・資源化することで、ごみの減量や二酸化炭素の排出抑制を図ります。

R7 見込額：669 百万円 R8 見込額：670 百万円

食品ロス削減の推進 3,299千円 (— 千円)
新規 ▶千代田清掃事務所

食品ロスを削減するためには、区、区民、関係団体・事業者等がそれぞれの立場において主体的に削減活動に取り組むとともに、食品を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要です。

令和6年度は、廃棄される食品を消費者のニーズとマッチングさせて食品ロスを削減するフードシェアリングアプリの導入や区民、事業者、学生を対象に食品ロス削減に関するフォーラムを開催します。

R7 見込額：1 百万円 R8 見込額：1 百万円

交通安全推進

30,314千円 (5,103 千円)

拡充

▶環境まちづくり総務課、道路公園課

警察庁が行った調査によると、自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方の約6割が頭部に致命傷を負っており、ヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて約2.6倍高くなっています。

このような状況の中、令和5年4月に施行された改正道路交通法により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、区民の安全確保の観点からヘルメット着用を推進するため、ヘルメット1個あたり2,000円の購入費補助を行います。

R7 見込額：5百万円 R8 見込額：5百万円

自転車活用推進計画の策定

12,989千円 (— 千円)

新規

▶環境まちづくり総務課

区は、安全な自転車走行空間の確保や駐輪対策、マナーの周知など、区の地域性を活かした総合的な自転車利用の取組みの指針となる「千代田区自転車利用ガイドライン」を平成25年度に策定しました。

令和6年度は、区における自転車活用に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「千代田区自転車利用ガイドライン」の考えを踏まえながら、「千代田区自転車活用推進計画」の策定に向けた調査・検討を行います。

R7 見込額：9百万円 R8 見込額：完了

ウォーカブルなまちづくりの検討

43,461千円 (33,083 千円)

拡充

▶道路公園課、景観・都市計画課

区は、「千代田区都市計画マスタープラン」で描いた将来像「つながる都心」の実現に向け、令和4年6月に「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定し、歩きやすく居心地の良い「ウォーカブルなまちづくり」を推進しています。

令和6年度は、引き続き道路などにおけるプレイスメイキング[※]等の実証実験を行うとともに、地域資源である水辺を誰もが快適に楽しめるにぎわいのある空間とするため、景観の魅力を向上させる橋のライトアップに向けた調査・検討を行います。

※プレイスメイキング：都市の中に、単なるスペースだけでなく、居心地のよい場所、楽しく過ごせる場所（プレイス）をつくること、また、個人の精神的なよりどころとなる場をその人自身が住んでいる地域や関わりのある地域で自ら創出・再生すること。

R7 見込額：28 百万円 R8 見込額：33 百万円

歩道のセミフラット化

71,000千円 (140,000 千円)

▶道路公園課

様々な道路整備事業（歩道設置・拡幅、バリアフリー化、無電柱化など）が既に完了している路線のうち、段差解消が必要な歩道については、歩きやすい歩行空間の確保を推進するため、歩道のセミフラット化に取り組んでいます。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、「二七通り（九段南二丁目～三番町）」の設計を実施するほか、「駿河台道灌道（神田駿河台三丁目）」のセミフラット化工事を実施します。

R7 見込額：46 百万円 R8 見込額：132 百万円

エリアマネジメントの推進

11,290千円 (— 千円)

新規

▶景観・都市計画課

エリアマネジメント活動は、一度のみの活動で終わるのでなく、活動後に効果等を検証し、継続的な活動とすることや日常化を進め、地域経営化を進めていくことが重要です。

令和6年度は、エリアマネジメント活動を展開するうえで大きな役割を担うことが期待されるエリアマネジメント団体のあり方等について検討するとともに、エリアマネジメント団体への支援方法を検討します。

R7 見込額：完了 R8 見込額：完了

地区の計画等の検討

53,680千円 (30,992 千円)

▶景観・都市計画課、地域まちづくり課

地域特性を踏まえた、きめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。このため、区は、必要な調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討、地域との協議・調整を実施しています。

令和6年度は、引き続き再開発事業の事前・事後における評価制度の構築に向けて検討を進めるとともに、神保町地区等において新たな地区計画の策定や地区計画の変更に向けたまちづくりの動向に対応していきます。

R7 見込額：49 百万円 R8 見込額：34 百万円

秋葉原地域まちづくりの推進 **12,200**千円 (6,500 千円)

▶地域まちづくり課

秋葉原地域では、駅周辺の機能更新や川沿いにおける親水空間の整備、公共施設の機能更新などが課題となっており、外神田一丁目においては、令和元年12月に「外神田一丁目計画基本構想」を改定し、地区計画策定に向けた勉強会などを経て、都市計画手続きを行ってきました。

また、神田佐久間町地区では、地域課題の解決に向け、地権者等によるまちづくりの検討が進められています。

令和6年度は、引き続き地区計画の検討や公共施設の機能更新に向けた調整を行っていきます。

R7 見込額：5百万円 R8 見込額：5百万円

飯田橋・富士見地域まちづくりの推進 **25,054**千円 (10,554 千円)

▶地域まちづくり課

飯田橋・富士見地域では、地域のまちづくり協議会において基本構想を策定し、飯田橋駅及び駅周辺の環境整備に向けてまちづくりを推進しています。

令和6年度は、引き続き基本構想の具現化に向けて、飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行っていきます。

R7 見込額：10百万円 R8 見込額：10百万円

神田駿河台地域まちづくりの推進 **98,072**千円※ (256,054 千円)

▶地域まちづくり課

※うち90,000千円は、御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備に係る負担金です。

神田駿河台地域では、地域のまちづくり協議会において地域の課題解決に向けたまちづくりを進めており、大規模な開発事業に関しては計画の段階から議論し、地域の環境改善につながる整備を行ってきました。

令和6年度は、引き続き御茶ノ水駅聖橋口駅前広場の供用開始に向け整備を進めるとともに、茗溪通り（御茶ノ水駅前）のにぎわい形成に向け交通量調査等を行い、歩行者専用化の検討を進めます。

R7 見込額：40百万円 R8 見込額：5百万円

神田駅周辺地域まちづくりの推進

9,318千円 (9,318 千円)

▶地域まちづくり課

神田駅周辺地域では、神田駅周辺環境整備懇話会を設置し、商業・業務・住居の各機能が調和し、活気とにぎわいがあり、安全で安心して活動できるまちをめざすため、地域と協働しながらまちづくりを進めています。

神田警察通り沿道では、神田警察通り沿道整備推進協議会を設置し、地域の将来像を描き、その実現に向けた取組みを進めています。

令和6年度は、引き続き沿道だけでなく、その周辺を含めた地域の魅力を高め、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行っていきます。

R7 見込額：9百万円 R8 見込額：9百万円

次世代育成住宅助成

144,084千円 (127,296 千円)

拡充

▶住宅課

区は、親元近居のために住み替えを行う子育て世帯や新婚世帯、子どもの誕生・成長に伴い区内転居する子育て世帯に対して住宅助成を行い、世代間共助等のライフスタイルを支援しています。

令和6年度は、子どもの成長等に伴いより広い住宅に住み替える際、新たに引っ越しに係る費用（初回のみ10万円）を助成し、住み続けられる住環境を推進します。

R7 見込額：144百万円 R8 見込額：144百万円

マンション管理の適正化の推進

11,944千円 (6,119 千円)

拡充 ▶住宅課

区は、マンションの管理水準を底上げするため国の基本方針に基づくマンション管理適正化推進計画を策定し、令和5年度からマンション管理計画の認定制度を開始するとともに、マンション管理の適正化の推進に向けて取り組んでいます。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、マンション管理組合への支援を行うとともに、新たにマンション管理会社への支援を実施し、制度のさらなる普及に取り組めます。また、認定基準を満たさないマンション管理組合に対する助言等の体制構築や長期修繕計画の見直し等の管理水準底上げに向けた支援策を検討します。

R7 見込額：13 百万円 R8 見込額：13 百万円

第4次住宅基本計画の策定

11,947千円 (— 千円)

新規 ▶住宅課

現行の「第3次住宅基本計画」は、「多様な人々が住み支え合う交流促進型生活都心の形成」を計画の理念・目標に掲げ、平成27年10月に改定しました。

令和6年度は、現行の計画が令和6年度に最終年度を迎えることから、世帯構成・生活スタイル・住宅市場など住まいを取り巻く環境の変化や、多様化する住宅ニーズに対応した住宅施策を展開していくため、住宅基本計画を改定します。

R7 見込額：完了 R8 見込額：完了

電線類地中化の推進 **578,720**千円 (592,000 千円)

▶道路公園課

区は、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与するため、電線類の地中化に取り組んでいます。

令和6年度は、引き続き2地区の工事と1地区の設計に取り組みます。

■令和6年度実施内容

工事：多町大通り南周辺地区、二七通り東地区

設計：二七通り西地区

R7 見込額：73 百万円 R8 見込額：314 百万円

歩道の設置・拡幅整備 **445,000**千円 (79,628 千円)

▶道路公園課

区は、交通事故の防止を図るとともに、歩行者や車椅子利用者などが安心して利用できる歩行空間を確保するため、歩道の設置・拡幅整備に取り組んでいます。

令和6年度は、2地区の工事と1地区の設計に取り組みます。

■令和6年度実施内容

工事：神田駅ガード下、清州橋通り（靖国通り以南）

設計：五十通り

R7 見込額：418 百万円 R8 見込額：381 百万円

自転車通行環境整備 **360,000**千円 (10,000 千円)

▶道路公園課

近年、健康や環境、災害対策などへの意識の高まりにより、自転車利用のニーズが高まっています。一方で、交通安全上の問題も増加していることから、区は、自転車の安全な走行環境の整備を進めています。

令和6年度は、神田警察通りにおいて、Ⅱ期区間の工事及び次期以降の設計を実施します。

R7 見込額：- R8 見込額：-

橋梁の整備

2,423,921千円 (2,965,354 千円)

▶道路公園課

区が管理する橋梁は、大正から昭和初期までに架けられたものが多くあり、「千代田区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全の観点から5年に1回点検のうえ、傷んだ箇所の補修や大きな地震に備えて壊れにくい丈夫な橋とするための補強、橋の劣化を防ぐための塗装塗替等を行っています。

令和6年度は、「お茶の水橋」「後楽橋」等に加え、新たに「南堀留橋」の塗装塗替等工事や「三崎橋」「宝田橋」の補修・塗装塗替に係る設計に取り組みます。

■令和6年度実施内容

工事（補修補強）：お茶の水橋、後楽橋、雉子橋

工事（塗装塗替等）：新川橋、南堀留橋

設計（補修・塗装塗替）：三崎橋、宝田橋

R7 見込額：1,731 百万円 R8 見込額：1,774 百万円

まちづくりプラットフォームの構築

24,850千円 (17,742 千円)

拡充

▶景観・都市計画課

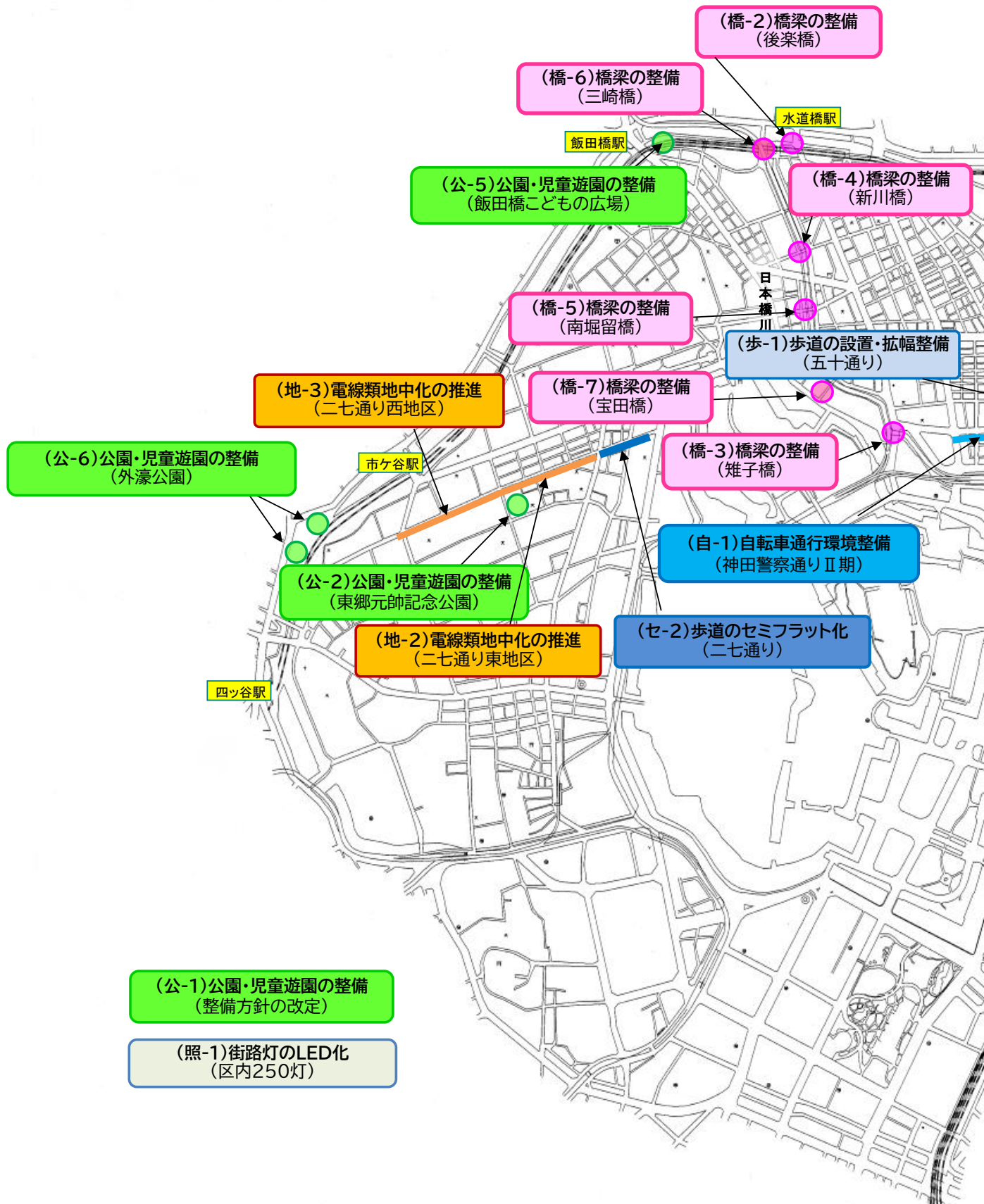
「千代田区都市計画マスタープラン」で描いた将来像の実現のためには、まちに関わる多様な主体がそれぞれの力を活かして創意工夫を重ね、文化資源をまちの魅力につなげたり、地域のつながりを強めたりするなど、具体的なまちづくりを展開することが重要です。

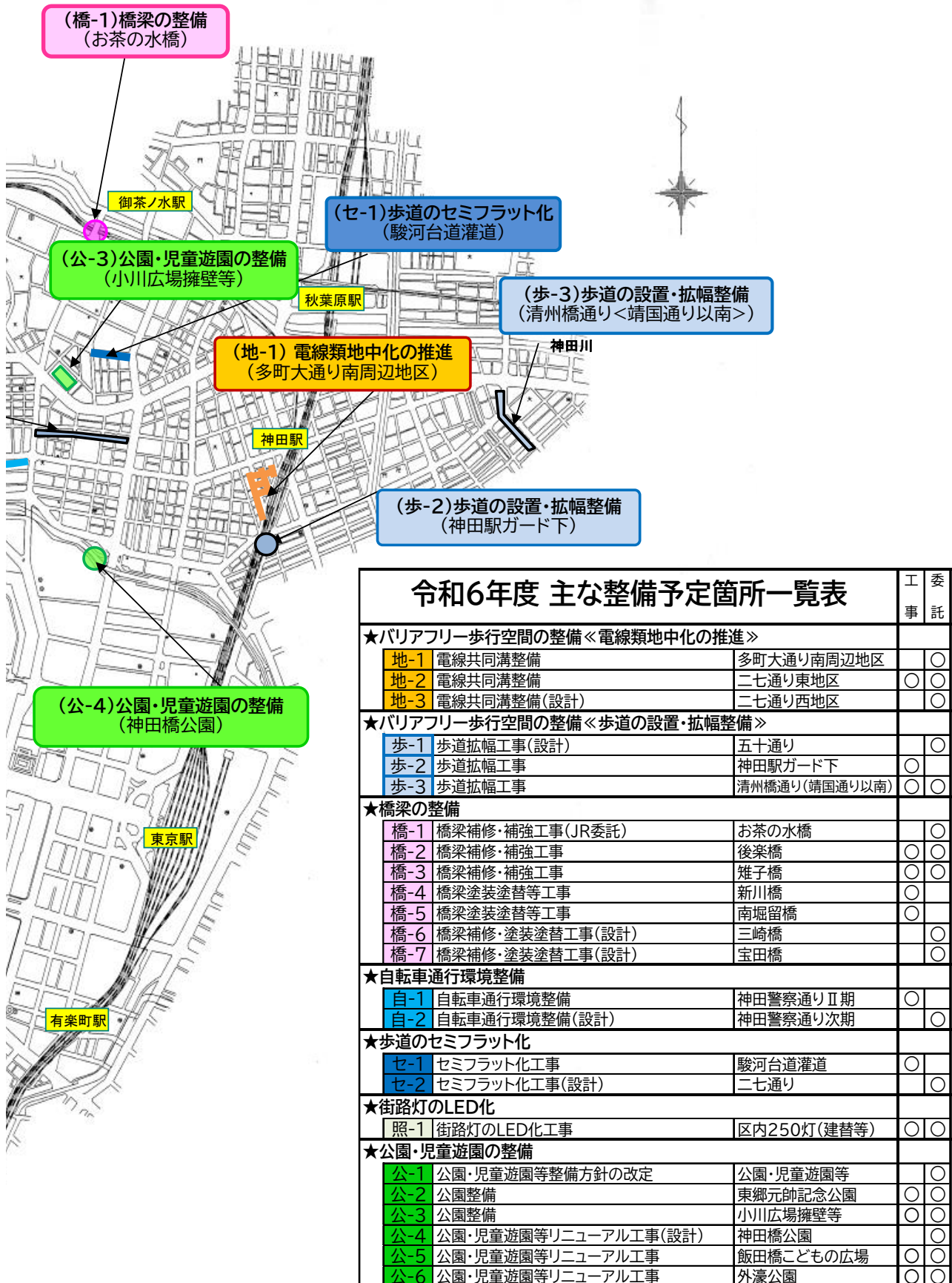
令和6年度は、まちづくりプラットフォームのあり方の検討状況を踏まえながら、プラットフォームの組織づくりに向けた検討を行います。あわせて、区が所有するまちづくりに関する様々なデータ等を誰でもスムーズに入手できる仕組みの構築に向けて、データベースの活用に向けた検討を行います。

R7 見込額：24 百万円 R8 見込額：3 百万円

令和6年度 主な整備予定箇所

環境まちづくり部 道路公園課





令和6年度 主な整備予定箇所一覧表

			工	委
			事	託
★バリアフリー歩行空間の整備<<電線類地中化の推進>>				
地-1	電線共同溝整備	多町大通り南周辺地区		○
地-2	電線共同溝整備	二七通り東地区	○	○
地-3	電線共同溝整備(設計)	二七通り西地区	○	○
★バリアフリー歩行空間の整備<<歩道の設置・拡幅整備>>				
歩-1	歩道拡幅工事(設計)	五十通り		○
歩-2	歩道拡幅工事	神田駅ガード下	○	
歩-3	歩道拡幅工事	清州橋通り(靖国通り以南)	○	○
★橋梁の整備				
橋-1	橋梁補修・補強工事(JR委託)	お茶の水橋		○
橋-2	橋梁補修・補強工事	後楽橋	○	○
橋-3	橋梁補修・補強工事	雉子橋	○	○
橋-4	橋梁塗装塗替等工事	新川橋	○	○
橋-5	橋梁塗装塗替等工事	南堀留橋	○	
橋-6	橋梁補修・塗装塗替工事(設計)	三崎橋		○
橋-7	橋梁補修・塗装塗替工事(設計)	宝田橋		○
★自転車通行環境整備				
自-1	自転車通行環境整備	神田警察通りⅡ期	○	
自-2	自転車通行環境整備(設計)	神田警察通り次期		○
★歩道のセミフラット化				
セ-1	セミフラット化工事	駿河台道灌道	○	
セ-2	セミフラット化工事(設計)	二七通り		○
★街路灯のLED化				
照-1	街路灯のLED化工事	区内250灯(建替等)	○	○
★公園・児童遊園の整備				
公-1	公園・児童遊園等整備方針の改定	公園・児童遊園等		○
公-2	公園整備	東郷元帥記念公園	○	○
公-3	公園整備	小川広場擁壁等	○	○
公-4	公園・児童遊園等リニューアル工事(設計)	神田橋公園		○
公-5	公園・児童遊園等リニューアル工事	飯田橋こどもの広場	○	○
公-6	公園・児童遊園等リニューアル工事	外濠公園	○	○